五代十助殿御復職之儀ニ付
過日私共一同奉歎願候旨承知
御引請右歎願書其筋ヘ速ニ御進
達被下候処雖有仕合奉存候只管
御採用御再勤之儀御沙汰奉御祈柄
今般其許被御用ニ付御東行相成
候幸之事ニ御座候奉歎願候私共
切迫之情實御含置彼地ニて猶
励ミ尽力ニ而御成就被下度別紙歎願
書写差添ニ而御依頼仕候

書留差下候條盡力之程深く

奉願候以上

巳六月

通弁役趣代
吳　一

八等役趣代
岡山良藏

七等役趣代
永見利十郎

六等役趣代
杉　謙之助

五等役趣代
伊勢谷龜三郎

四等役趣代
林　徳太郎

友澤政藏
荒木昌三
此通馬之助
芝山浩二
中尾若治
澤井猶太郎
佐藤麟太郎
三潟末太郎

土肥真一郎殿

澤井猶太郎
佐藤麟太郎
三鳴末太郎
植村作七郎
吉田猪三郎
菊池勇助
松尾寅之助
加藤祐一
馬田佐十郎

奉歎願候書付

謹而奉歎願候今般五代寸助殿會計官判事
ヲ以横濱港出張被
御付候旨御達之趣奉拝承賢良ヲ擧寸能ヲ
撰ハセラレ候
御主意文明之御制度洩ルヽ無キ御儀ト乍恐
私共小輩ニ至ルマテ難有仕合奉存候然ル處寸助殿

御儀ハ阪地草創ヨリ外國御交際ノコヲ司トラセラレ
就中御開港被為在候テヨリ以来更ニ力ヲ盡サセ
ラレ彼レノ逆ヲ折キ此レノ順ヲ助ケ士ヲ教ヘ商ヲ導キ
廣ク仁慈ヲ垂レ普ク恩恵ヲ施シ衆人ヲ子ノ如ク憐ミ
王ヒシニヨリ私共一同乍恐父母ノ如ク慕ヒ奉リ犬馬ノ
勞ヲ不厭奔走勉勵罷在候儀ニ有之然ルニ今不圖
他港ヘ御轉遷被為在候テハ殆向方ヲ失シ歎息悲泣
之外無之就テハ申上候モ深ク奉恐入候儀ニ候得トモ
何卒御復職被為在候テ舊ノ如ク阪地外國局御總
括被成下候様仕度偏ニ奉歎願候右ハ私共深ク御徳
行ヲ慕ヒ奉リ候情實ヨリ奉申上候儀ノミニ無之
御復職被為在候ハヽ乍恐
天朝ノ御為廣大ノ儀ト奉存候此段愚存奉建言候
元来大阪港ハ三都ノ一ニテ殊ニ盛東西両京ニモ不讓
豪商富家櫛比鱗次罷在就中諸國之物産他ノ
諸港ヘ運輸スヘキモノモ必ス一ト度大阪港ニ入レサレハ

商業ノ便利ヲ得サルカ故ニ常ニ千帆港口ニ及ヒテ萬貨
市街ニ充チ候一大市場ニ付今此港ヲ以テ大イニ貿
易ヲ開カンニハ横港モ猶及ハサルカコトキ繁榮ヲ見ルヘク
隨テ富國ノ境ニ至ラン事ヲ指ヲ屈シテ待ツヘク奉存候ヘトモ
阪人肉循姑息之気象有之舊習ニ泥ミテ新規ノ
高法ヲ企ル者稀ナルカ故ニ成業速カナラス所謂
大器晩成ノ確言ニ不洩儀ニハ候得共卽今實効難
相立寸助殿早ク此事ヲ憂ヒ玉ヒ萬國普通之
公法ヲ説キ開鎖ノ利害商法ノ得失ヲ論シ連々
徐々嬰児ニ示スカ如ク教導シ玉ヒシニヨリ商民漸ク
活眼ヲ開キ即今稍姑息ノ旧習ヲ脱離セント欲スルノ
時ニ臨ンテ卿轉遷被為在候テハ舩ノ檝ヲ断シ
車ノ軸ヲ失ヘルカ如ク衆人愕然之外無之今如此ニテハ
憤發ノ氣力モ折ケ創業ノ規律モ立ナ申スマテシノ實ニ
歎息ノ至ニ奉存候勿論至當ノ人傑卿撰擧被為在
後職被　命候儀ハ奉存候得モ聖賢猶出處ノ

異ナリ候ハ人ノ面ノ異ナルカ如ク二候間十助殿御見込ノ
通リニハ貿徹仕マシキノ仮令良法ニ候トモ諸事新規ニ
相成候テハ再ヒ人気引立ナ申スマシク實ニ大港ノ盛衰ニ
拘リ若干ノ御損益ニモ差響不容易儀ト奉存候従昔
任國ノ年限モ四年或ハ五年ニ被為定候哉ニ奉存候
旧来之規律相定リ有之候土地ト雖トモ猶此ニ有之況
新規御開キ相成貿易場ノ儀ニ付一途ニ御開業
不被為在候テハ御成業モ遅延可仕哉因テハ猶三箇年
之處御復職相成候様仕度勿論夫等之儀ハ管見ノ愚
意トハ大ニ異ナリ候事ニテ無テ棟々御評議之上御決定
被為在候御儀トハ奉存候得共眼前之當惑窮食ヲ
安ンセス候ニ付恐レヲモ不顧愚存ノ趣奉申上候實以不可
語上之聖教ヲ忘レ揆リニ畢陋之贅言奉申上候儀萬死
之罪難免候得共幸ニ寛大之
御仁恵ヲ以献芹之微志御採用被下置十助殿如舊
阪地御再勤之御沙汰被成下候ハヽ私共ハ申スニ不及

巨萬之商民歡喜雀躍仕速ニ通高之道開ケ愈万世
之基礎相立ケ可申ト奉存候右ハ當港ニ株リ至重ノ事
件焚眉之急ニ迫リ罷在候儀ニ有之且ハ私共一同深ク
奉慕候情實篤ク御憐察被成下何卒此儀御許容
被成下置候様偏ニ御執成之程伏テ奉歎願候誠恐
誠惶頓首謹言

巳五月

一等役
馬田佐十郎
加藤祐一

二等役
松尾寅之助
菊池勇助
吉田猪三郎
植村作七郎
三嶋末太郎
佐藤麟太郎
澤井猶太郎

三等役
中尾若治

芝山浩　三

池邊馬之助

荒木昌　三

友澤政　藏

四等役
林　徳太郎

田中虎太郎

庄山友太郎

萩野愼　三

岡田猪之助

蒔田源次郎

工藤金之亟

古屋善太郎

土肥源之助

五等役
伊勢屋亀三郎

吉田邑次郎

小山又次郎

增田全之助
瀧國助
寺嶋權之丞
飯塚左吉
栗山三郎
二俣儀之助
吉井音左衛門
飯島恒之助

戸田三助
六等役
杉謙之助
岡部久馬司
水嶋浦次郎
木羽政次郎
三井仁三郎
生田道太郎
廣瀬元助

森岡庄　吉
平塚五兵衛
川北多吉左衛門
村竹啓次郎
吉田寅次郎
由比新五郎
山村犬太郎
井窪左之助

七等役
永見利十郎
豊田林　藏
荒淵榮次郎
黒﨑與三次郎
石倉壽士
田邊彦　七
小松市太夫
津田寛　藏

津田轍之進
太田資左衛門
中嶋督　司
村竹福太郎
池田三　藏
吉田百太郎
玉置左一郎
岡部與三士

豐田助太郎
山口秀太郎
田中覺　治
大石門十郎
米山治兵衛
田中辰　藏
田湖庄　助
木橋源　藏

岡嵜為三郎
八田謹一郎
弓削作之丞
杉浦榮次郎
八等役 岡山良藏
福井政右衛門
鈴木近三郎
宮田元三郎

境甚次郎
川上小太郎
三井作次郎
福井高藏
宇津尾金吾
七五三桑太郎
宮田仲藏
伊藤友太郎

川上和市
人見橘太郎
久保田平三郎
木羽真太郎
永見恒藏
荒澗金次郎
津田孝太郎
岡部擒次郎

上田藤太郎
酒井包之助
永見常三郎
鈴木喜次郎
須藤俊太郎
福井辰之助
小山謙太郎
中村隆之助

馬場余七郎
中村三彌
竹村敬之助
中山順太郎
平野沖之丞
松浦十代太郎
深谷小一郎
竹内兵三郎

奥村弘之助
平井清一郎
松嶋守三郎
駒田光之助
松井騏太郎
伴藤太郎
工藤乙太郎
清原信太郎

戸田竹之助
服部伸次郎
西田壽三郎
仁木藏太郎
福田鉚吉
岡木莊次郎
松浦正次郎
関千代造

近藤宗之助
豊田仙藏
山中一司
安田豊藏
淺羽光之助
山田肇
永井幸次郎
山口眞太郎

紊　律　三
馬場和三郎
宮木則二郎
山中常二郎
通弁役
呉　一
羽太周助
志筑竜三郎
游龍奮作

川原金三郎
西熊治
村瀬善三郎
松尾良吉
清家定一郎

・・・